



のぞみふくいニューズレター

第29号 (H22. 9月)

(財)がんの子供を守る会 福井支部 発行

TEL・FAX 0776-22-5132

Email nozomi-f@mx3.fctv.ne.jp

本部URL <http://www.ccaj-found.or.jp/>

支部URL <http://www3.fctv.ne.jp/~nozomi-f/>

9月に入りましたが、30度以上の夏日は続いております。異常気象ですね。先日は、福井に50何年ぶりに台風が上陸いたしましたが、風も雨もたいしたことはなかったので、被害はなくよかったです。しかし、秋はいつ来るのでしょうか。このごろは、朝晩は涼しくなっていると感じています。暑さ寒さも彼岸までといいますが、秋分の日以降、秋は深まるのでしょうか。9月は、お休みも多く、レジャーにもスポーツにも適した9月です。良い9月をお過ごしください。(文責：代表幹事。)

北陸小児がん研修会 (のぞみ 富山・石川・福井交流会)



2010年9月5日(日)午後1時から4時まで 金沢の石川県地場産業振興センター・第三研修室にて開催しました。参加者は、石川の地元の方、福井、富山からの参加者本部ソーシャルワーカーも含め総勢22人でした。はじめに本部ソーシャルワーカーより当会の説明をしていただき、小児がんを経験したお子様(現在は治癒)のお母様の立場からの体験談と小児がんでお子様を亡くされたお父様の立場からの体験談をそれぞれ発表していただきました。



参加者は、小児がんに関わっている人ばかりなので、体験談を聞いているうちに自分の経験と重なり、それぞれに色々な想いがこみ上げてきたようでした。父親・母親で、感じ方が違うのはわかっていますが、子供が大変な目にあっただという思いと、その子のためになにができるのか。辛い思いから助けてあげたい。それはどの親も同じであるということ。また、発表した方は、一から経験を振り返ることで、新たに思いが強くなりますが、心の平穏を取り戻す機会になったことでしょうか。今後のそれぞれの活躍を子供は見ています。決して悪くは思いません。きっと自慢だというでしょう。尊敬してくれるでしょう。生存していても、天に召されたとしても、いつもそばにいてみてくれるでしょう。その後、経験者本人のグループ。経験者の家族のグループ。亡くした家族のグループに分かれて交流会を行いました。それぞれのグループで、話は盛り上がりました。今の思いをみんなと話し合うことは重要です。心の平穏が保てます。情報交換できて、安心感も得られます。今回は石川の方の参加者は少なかったですが、福井、富山からも、石川に治療に行く場合が多々ある中、石川の方にももっと当会のことを知ってもらい、情報を得る、相談する、交流することの大切さを知ってもらいたいと思いました。石川に支部を立ち上げるといっても、年一回でも、本部と協力し、こういう機会を続けていきたいと思えます。今回開催に当たり、石川県の血液疾患患者の会 萌の会様にご協力いただきました。ありがとうございました。

10月2日(土) 第10回中部小児がんトータルケア研究会 名古屋医療センターにて開催されます。

トータルケアとは、発病から、治療中、治療終了後、もしくは亡くなった後まで本人と家族に対する医療的、精神的支援です。中部地区(東海・北陸・信越)の小児がんに関わる医療関係者、保育教育関係者、支援団体が集まって、トータルに考える場です。今回は10回記念で、聖路加国際病院の細谷亮太先生の基調講演「小児がんのトータルケアの40年」があります。研究会なので、演題の発表とポスター発表があります。小児がんに関わる方、勉強されたい方、興味のある方はおいでください。参加費は1000円です。12時15分から情報交換昼食交流会があります。学生と初期研修医は参加費無料です。開催場所は、名古屋市中区三の丸4-1-1 名古屋医療センター外来棟5階講堂にて、午前11時から5時までです。

映画 「君が踊る、夏」 9月11日公開 少女の命のために、一生懸命(いちむじん)に

高知の小児がんに関わった少女と、溝端淳平君演ずる青年との「よさこい踊り」に関する約束を描いた物語。がんの子供を守る会高知支部の会員の方の実話を基に作られています。